

環境会計(平成14年度)

平成15年4月25日
富士通サポートアンドサービス株式会社

当社は平成11年度より環境保全活動を開始し、同時に「環境会計」を導入いたしました。
平成14年度の実績について公表いたします。

1. 環境保全コスト及び環境保全に係る効果

環境保全コスト

(単位:千円)

分類	主な取組の内容	平成14年度	平成13年度
		費用額	費用額
(1) 生産・サービス活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業エリア内コスト)	-	-	-
内訳	公害防止コスト	-	-
	地球環境保全コスト	237	237
	資源循環コスト	33,776 3,850	31,259 758
(2) 生産・サービス活動に伴って上流又は下流で生じる環境負荷を抑制するためのコスト(上・下流コスト)	グリーン購入の推進(環境保全効果を参照)	-	-
(3) 管理活動における環境保全コスト (管理活動コスト)	ISO14001審査・登録費用等 環境内部監査に係る費用 環境推進活動費用(人件費) 環境教育に係る費用 その他環境推進活動に係る費用	1,571 16,345 45,600 5,983 97	1,390 22,200 45,600 26,891 178
(4) 研究開発活動における環境保全コスト (研究開発コスト)	-	-	-
(5) 社会活動における環境保全コスト (社会活動コスト)	環境報告書作成、第三者審査費用	4,140	3,545
(6) 環境損傷に対応するコスト (環境損傷コスト)	-	-	-
環境保全コスト 合計		111,599	132,060

環境保全効果

効果の内容	環境負荷指標	平成14年度	平成13年度	
(1)事業エリア内で生じる環境保全効果(事業エリア内効果)	電力使用量削減(千Kwh)	1,482	1,223	
	(削減率)	10.4%	8.6%	
	電力・紙に関しては基準年度(平成10年度)に対する削減量	紙使用量削減(千枚:A4用紙換算)	11,932	11,924
	(削減率)	22.8%	22.8%	

当社では省エネルギー/省資源活動として電力及び紙の総使用量削減活動をしております。
平成14年度においても電力10.4%、紙22.8%削減(平成10年度比:それぞれ全社ベース)を達成しました。このため、基準年度に対する環境保全効果は昨年度より増加しました。

環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の主な内容	平成14年度	平成13年度
省エネルギー活動による費用削減	32,618	26,918
省資源活動による費用削減(紙)	180,572	175,144
環境内部教育による費用削減	9,549	9,416
環境保全対策に伴う経済効果 合計	222,619	211,478

電力・紙は基準年度(平成10年度)に対する経済効果

(注記)

- 環境保全コスト及び環境保全に係る効果の分類については、「環境会計システムの確立に向けて(2000年報告)」(平成12年3月 環境庁)の環境会計ガイドラインによっております。
- 集計範囲...富士通サポートアンドサービス(株)及びエフサス・クリエ(株)全事業所ならびに富士通ユニティ労働組合
- 対象期間...平成14年4月1日~平成15年3月31日

以上